

議会広報特別委員会研修視察報告書

1. 期間 平成 24 年 2 月 7 日から平成 24 年 2 月 8 日 まで

2. 視察先 三重県鳥羽市（2月7日）
三重県亀山市（2月8日）

3. 視察先 三重県鳥羽市議会
ソーシャルメディアを活用した議会放送の取り組みについて
三重県亀山市議会
『議会映像配信を中心とした、ホームページの活用』について

4. 視察参加者 委員長 山根 一男
副委員長 天羽 良明
委員 富田 牧子
山田 喜弘
山口 正博
板津 博之
伊藤 壽
事務局 熊澤 秀彦

5. 視察結果報告

◆三重県鳥羽市議会

（1）説明の概要

報告者 天羽 良明
説明者 議会事務局 北村純一 議事係長

○ツイッターと USTREAM の活用実績

ツイッター

① ツイッター導入経緯

ツイッターは、ホームページと違い、一度フォロー（登録）すると情報を受取続けることができ、また転送機能（リツイート）により重要な情報が拡散しやすくホームページに誘導しやすいことから導入を検討。

- ② 平成22年2月2日に正副議長決済で了承後、2月10日に報道資料提供。なりすまし防止のため、公式アカウントであると証明するにあたり、ツイッターの日本代理店に公認申請（ツイナビ公認）。
- ③ マスメディア等の掲載
新聞各紙他自治体系やIT系（ガバナンス、自治日報、自治体議会改革フォーラム等）に掲載。
- ④ ツイッターの効果。
平成15年5月の市議会ホームページ開設以来、2月までのアクセス件数は、17.8/日、2月のツイッター開始後、22回/日に増加し、特に若年層や議会に興味がなかった人に議会活動を知って頂くことができた。現時点でのフォローワーは、985人。その他 議員名簿にもツイッターアカウントを掲載。数名の議員が個人的にも活用している。ツイッターでの情報発信は無料。他議会の利用もはじまっている。

○議会インターネット放送導入経緯

① 議会インターネット放送導入経緯

これまでの本会議、委員会ともインターネット放送はされておらず、議会放送は平成21年9月から開始したCATVによる本会議の録画放送のみであった。

以前からより幅広い層（CATV未加入者40%）にも本会議や委員会等の審査を視てもらいたいとの議員からの要望があった。

② 検討事項

これまで議会インターネット放送を検討してきたが、他市議会のインターネット放送システム構築（業務委託）実績をみると、初期導入費、維持経費の負担が大きく（初期導入費3百万円、維持費年間百万円程度）、財政上導入が困難であった。

無料のインターネットストリーミング（USTREAM、ユーストリーム）が議会インターネット放送として活用できるということを事務局で確認し、提案することとした。

③ 平成22年7月の議会活性化検討委員会では、委員全員が事務局提案に賛成。実証実験として実施することが了承された。

④ 実証実験範囲

実施期間平成22年9月9日～現在

本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、全員協議会
放送内容 生放送及び録画放送

⑤ 平成23年5月1日から本格実施

⑥ 放送の検証結果

（平成22年9月～平成23年3月）期間中の生放送視聴者数及び視聴時間は延べ10,442人が2,435時間視聴した。録画放送は日々増えていく（現2,447人が視

聴している。)

⑦ 放送の検証結果

ツイッターとの連携により、ホームページのアクセス件数（累計）が大幅に伸びた。

一昨年2月まで：43,750PV、8月まで：48,100PV ツイッター効果。

昨年2月まで：54,000PV ツイッターとユーストリームによる効果

⑧ スマートフォン視聴

・自宅のパソコンのみならず、スマートフォンからも同じ映像を視ることが可能。

・USTREAM 社の無料アプリ（iPhone 等やAndroid 搭載スマートフォン）を使用。

⑨ 費用対効果

初期導入費 約5万円（委員会室用WEBカメラ2台、有料配信ソフト2本、その他配線等雑材）

ランニングコスト 0円

⑩ 委員会室のカメラが安価なウェブカメラで、議員側及び執行部側を定点で撮影（ズームやテロップは出ない）したが、画像としてはボヤけたものであった。様子がわかつてもらえば鮮明でなくても良いと思っている。

⑪ 配信方法

本会議は、既存CATVリース機材のDV端子からIEEE1394ケーブルを使用してPCに映像・音声共直接取り込み専用ソフトでエンコードしたものを、ユーストリームライブブロードキャスター（配信ソフト）により配信。

⑫ 委員会室はウェブカメラを2台購入し、PCにUSB接続して映像を、マイク設備のアンプから直接PCに音声を取り込み、専用ソフトでエンコードしたものを、ユーストリームライブブロードキャスターにより配信。

⑬ 操作は、全て事務局員で、本会議はカメラ操作1人（臨時職員）USTREAM操作1人。委員会は定点撮影のため、USTREAM操作1人のみです。

（2）質疑応答

質問Q 操作は、誰がやっているか？

A 私、ツイッターも動画も事務局員がやっています。カメラは、臨時職員で対応することもあります。

Q ツイッターの文章は、議長や上司に見てもらうのか？

A いえ、ツイッターは、そのタイムリーさが必要で、全委任をうけていますのでスピード感をもって発信している。

Q 生放送、録画放送で議会と議員の変化。

A 特に変化は、ない。放送されているので事務局は、ひやひやすることもあるが、議員は、発言もいつもと変わっていない。議員の位置情報サービスなども可能であるが居場所がわかつてしまうのは評判がよくない。

Q 市民側の変化。

A パブリックコメントが増加したなど変化は特にない。事務局には、苦情はないが、議員には、反応や声が届いているようだ。

Q 議会報告会はどんな風ですか？

A 年37回 3班に分かれていっている。2年前から市民の声をききにいっている。最初の30分は、決算の説明などをし、市民との交流の目的でやっている。

Q 放送中の発言修正は、しているか？

A 生放送は、できない。流れてしまう。先に言ったことは間違えでしたということはできる。

Q 放送のトラブルは？

A 報道機関などに周知しすぎて、アクセスが集中してパンクした。
専用インターネットケーブルを引き改善済である。

Q 情報発信はが優れている鳥羽市議会として今後の課題は？

A 議会報告会など 若い方が今のままでは集まらない。改善していきたい。

(3) まとめ

鳥羽市議会様より「可児市議会議会だより」をお褒めいただいた。最裏面の「地域の輝き 地域の笑顔」の市民が出てくる企画が良いとのことであった。4年前に広島県安芸高田市議会からご指導をいただいたものを、持ち帰りすぐ取り入れて発刊しつづけてきた。昨年秋には、諫早市議会が本市の議会だよりの視察にきてくれた。文章媒体の議会だよりの評価は、少しあり、市民へわかりやすい情報源として歴代の委員が試行錯誤してきた結果がでている。

第2弾として本市議会が目指すのは、「開かれた議会」である。当特別委員会が担うべき1つのミッションとして検討がはじまったのが、「見える化」である。



本市は、委託で可児ケーブルTVの自主番組として一般質問の生放送と録画放送を現状行っている。ケーブルTV加入者で放送を視れる環境にある市民でさえ、放送時間が決まっているので番組録画放送のタイミングがズレると見れないと見れなくなることになってしまう。鳥羽市議会にもその点の改善はないかと過去に検討がつづけられていた。

限られた方にしか見られていない状態を解消する方法としてHP（インターネット）の活用によるUSTREAM映像放送に辿りついた。

昨今予算が潤沢に有るわけではない。初期費用とランニングコストを抑えた映像配が求められている。

説明概要にある、コストを最小限に抑え、議会の活動を、あらゆる手段をつかって発信して、そして究極の目的である市民との意見交流へと繋がっていく様子を目の当たりに出来たことは、今後の可児市議会にとって最大のチャンスであると思います。無料のツールを複数活用して、いつでも「見れる鳥羽市議会」の貴重な話をこのタイミングで聞けたのは幸いである。

まずは、可児市議会のHPの画面をリニューアルし、ケーブルTV可児とも十分連携をとりながら、ソーシャルメディアを活用し工夫を加えながら、本市にあった動画配信の方法を探っていきたい。

◆三重県亀山市議会

(1) 説明の概要

報告者 山根 一男

説明者 議会事務局 渡辺靖文 主幹

○亀山市議会における議会映像公開

①ケーブルテレビによる議会中継

- ・平成 16 年 6 月定例会から、ケーブルテレビの行政チャンネルを利用して、一般質問の生放送及び録画放送を開始。(録画放送は本会議が開催された週の土・日曜の日中時間帯に行う)
- ・平成 19 年 3 月定例会から、議会質疑の生放送を開始。6 月定例会より同じく録画放送開始。
- ・平成 21 年 3 月定例会から、開会日の生放送及び録画放送を開始。
- ・平成 22 年 6 月定例会から、閉会日の生放送及び録画放送を開始。

※亀山市ケーブルTV加入率 82.5% (平成 23 年 3 月現在)

※放送そのものは議会費としては発生しない。録画放送編集費として、一定例議会あたり 15 万 7500 円～18 万 9000 円。

②インターネットによる録画配信

- ・平成 17 年頃より話題に上がっていた。平成 20 年 8 月、議会運営委員会にて愛知県碧南市議会を視察を契機にインターネットによる録画配信について会派代表者会議にて検討。平成 21 年度に予算化。
- ・平成 21 年 9 月定例会から、開会日、議案質疑、一般質問の録画配信を開始。
- ・平成 22 年 6 月定例会から、閉会日の録画配信を開始。
- ・平成 22 年 9 月定例会から、決算特別委員会の録画配信を開始。
- ・平成 23 年 3 月定例会から、予算特別委員会の録画配信を開始。

※議会映像インターネット配信業務委託料 平成 21 年 8 月～平成 25 年 10 月 (50 ヶ月)
329 万 4,900 円。備品としてエンコード変換用パソコン (キャプチャーボード込み) 14 万 9,100 円。

※ケーブルTVの生放送及び録画放送終了後、翌週水曜日からインターネット録画放送を開始する。ケーブルTVで放送されたものは、すべてインターネット録画配信をする。映像の保存期間は 4 年とする。

※予算・決算特別委員会は、委員会室で行われるので、固定カメラに合わせて質問席と答弁席を設けて行っている。

※インターネット録画配信は、議会日程と議員名、(通告書に載せた) キーワードと三つの方法で検索できる。

③議会報告番組『こんにちは！市議会です』の放送について

- ・平成 23 年 10 月から、定例会の内容を 8～10 分程度のダイジェスト番組として、ケーブルTV放送及び、インターネット録画放送として放送している。

- ・内容は、可決された主な議案、各常任委員会所管事務調査の結果報告、次期定例会の日程等について、議会事務局員が台本を作り、キャスターとなって制作、放送する。
 - ・平成 23 年 12 月より、「議会だより編集委員会」を廃止。副議長を委員長とする 7 名の議員から成る「市議会公聴広報委員会」を設置。役割は、議会だより及び議会広報番組等の監修、並びに公聴機能の充実。
- ※番組制作経費として、ケーブル T V 会社に平成 24 年度予算では、15 分番組で 1 本 15 万 6,450 円(年間 62 万 5,800 円)支払う。

④議会だよりの発行

- ・定例会 4 回、新年号(臨時会含む) 1 回、計 5 回(年)発行。部数 17,300 部(平成 23 年度)
- ・印刷製本費 1 ページ当たり 18690 円。年間約 180 万円(平成 23 年度予算)

※内容は議会事務局員が書く。どの一般質問等を載せるかは議員の希望による。市議会公聴広報委員会が内容・レイアウト等チェック。その後の修正は委員長と事務局で行う。

(2) 質疑応答

質問 Q たいへん見やすく、ていねいで分かりやすい議会ホームページであるがどのように作成しているか

A 平成 22 年 8 月制定の議会基本条例には、市民に対する説明責任と積極的な情報公開が明記されている。公開できるものはすべて公開するという考え方方が基本である。市議会公聴広報委員会で内容やレイアウトなどが検討される。

Q 議会ホームページの制作コスト及びアクセス数解析は?

A 平成 20 年 4 月に市全体のホームページとして全面リニューアルした。原則 5 年間は、大幅にはデザインは変えられない。議会費としてのコストはかかっていない。アクセス数は、過去 1 年間で 13408 件(月当たり 1490 件)

Q 議会報告番組「こんにちは! 市議会です」の制作経緯、ランニングコスト、反響は?

A 議会基本条例の中で、「議会報告会」の開催を記しているが、実際にはまだ開催されていない。番組制作は、議会報告の一環として位置づけている。機械保守などで月 1 万くらいのランニングコストが生じている。まだ、始まったばかりで、特に市民からの意見等は寄せられていない。ただし、議員には届いているようだ。

Q インターネット動画の録画配信について、特に反対意見はなかったか?

A すでにケーブル T V で映像配信はされており、導入に際し取り立てて反対意見はなかった。

Q インターネット録画配信にかかる事務局の作業量は?

A 記録された D V D を業者に早急に送る。配信前日火曜日に内容チェック。職員 1 名が半日くらいかけて行っている。

Q 発言の訂正や、不適当発言が出た場合の対策は?

A 議会内での取り消しが確定した場合は、その部分の録画配信をカットして放送する。

Q インターネット録画配信の今後の課題は?

A 常任委員会の撮影・配信をどうするかが課題となっている。

Q 市議会 H P や議会報告番組に寄せられた、市民からの意見はどのように反映するの

か？

A 特にケーブルTV放送や、市議会ホームページに市民の意見は寄せられていない。

Q インターネット録画配信を始めて、議会内の変化は？

A 22名の議員のうち、質疑9名・一般質問17名など（平成23年12月定例会）登壇する議員が多くなった。

Q 議会だよりは、よく読まれているか？

A その調査はしていないので分からぬ。

Q 議会だよりの一般質問まで職員が書く理由は？

A 従来から職員が書いている。議員が書くと偏った内容になる懸念がある。

Q 予算特別委員会をのインターネット録画放送を始めて何か変わったか？

A 以前は、自席からの発言だった。時間の有効活用という観点から原則として、事前通告をするようになった。

Q 新しいSNSの手法としてフェイスブック等の利用は考えているか？

A 今のところ、具体的には考えていない。

Q パソコンの本会議や委員会への持ち込みは可能か？

A 決められていない。今のところは、そのような事例はない。

(3) まとめ

亀山市議会は議員定数（22名）や、ケーブルTVによる映像配信など、可児市議会と共に通点がある。これまでのケーブルTVでの映像配信をベースに、インターネットによる録画配信を手がけていった経緯は、大いに参考になりそうだ。インターネット録画配信の方式についても、鳥羽市議会が採用しているユーストリームによる配信に比べると、コスト高は否めないが、その分、検索機能か使いやすさの点ではメリットも多い。その辺りの検証の必要も感じられた。

議会事務局員による議会広報番組の制作・放送はたいへん優れている。要は『議会だより』の映像版ということだが、可児市議会としても将来的な課題として検討の余地はある。

全体的に、市議会ホームページのレイアウトや情報量などで参考になる点が多い。一方で、「議会だより」については、当市議会は議員本位で作成している点、特徴であることを自覚した。

今後、当市議会としてより、市民に対して説明責任を果たし、情報公開を進めてゆく上で、ある程度先行している「議会だより」やケーブルTVによる生放送・録画放送に加え、インターネット録画配信や市議会ホームページの充実を図ることで、より多くの市民に参加してもらえる市議会を目指していきたい。亀山市議会への視察は、たいへん有意義なものであった。



可児市議会 議会広報特別委員会 行政視察行程表 2月7日（火）～8日（水）

月日	行 程		視 察 先		調 査 事 項
2月7日 （火）	中型バス (集合) 可児市役所 8:30 ————— (昼食) 12:00~12:45 — 鳥羽市役所 ——— (宿泊先) 観察 13:00~15:00		三重県鳥羽市 人口：21,635人 面積：107.98km ² 〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽3-1-1 TEL 0599-25-1206 FAX 0599-25-1215 議長：坂倉 紀男 様		●ソーシャルメディアを活用した市議会広報について
2月8日 （水）	中型バス (宿泊先) ————— 龍山市役所 ... 8:00 観察 10:00~12:00 中型バス … 徒歩 … (昼食) ————— 可児市役所（解散） 12:15~13:00 16:00		三重県龍山市 人口：50,092人 面積：190.91km ² 〒519-0195 三重県龍山市本丸町577 TEL 0595-82-1111(代)・0595-84-5059 FAX 0595-83-2203 議長：小坂 直親 様		●議会映像配信を中心とした議会ホームページの活用について
議会広報 特別委員会	◎ 山根 一男	○ 天羽 良明	議会事務局	熊澤 秀彦	〒509-0292 岐阜県可児市広見一丁目1番地 岐阜県可児市議会事務局 TEL 0574-62-1111(代) 0574-61-1835(直通) FAX 0574-63-3972 連絡先 ◎委員長 ○副委員長 合計 8人
	富田 牧子	山田 喜弘			
	山口 正博	板津 博之			
	伊藤 壽				